

全国から注目度アップ！ 厚真町の遺跡・文化財

平成29年度は、発掘調査がなかった1年でしたが、これまでの発掘成果がさらに注目を浴びた1年でした。

昨年6月から全国5カ所を巡る文化庁主催の展覧会への出品では、これまでの常識をさかのぼる700年以上前から続くアイヌ文化の古い伝統を紹介できました。北海道としてもアイヌ文化の紹介が推進され、全国、世界的にも注目される中で、これからはますます中心的・象徴的な資料となるものと思われます。今年3月に返却され、4月以降は青少年センターでも一般公開の予定です。

また、発掘成果の学会発表も続き、専門の研究者たちからも「アイヌ民族の歴史、日本古代中世の歴史を考えるうえで、厚真町は全国モデルとなるべき成果」と多くの方々に注目されています。

新たな成果としては、国宝の刀剣の鞘など 拵 を忠実に復元している金工師が来町し、「年代が確実な鎌倉時代の刀剣そのものが発見されたことは極めて貴重であり、日本刀研究のうえでも、必見の資料」との評価があり、厚真の資料も復元作業に入りたいとのことでした。

ダム事業15年間で町民の多くの方々が携わった厚真町の発掘調査の成果は、これからはさまざまな研究分野や教育、観光面からの注目度がますます高まっていくものと確信しております。



上幌内2遺跡
(平成26年発掘)



スタンプ文漆器とスタンプ単位 (オニキシベ2遺跡) 鎌倉幕府とのつながりを実証し、宇隆1遺跡の常滑壺とともに当時の交易経済や政治研究からも注目されています。なぜ、厚真町の山奥から出土するのか？ 研究者たちもこれまでの学説を練り直しています。

考古学・刀剣研究でも注目される腰刀と金を塗った金具

1月定例教育委員会

1月25日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

厚真町教育支援委員会、第70回厚真町成人式、議会総務文教常任委員会所管事務調査、厚真町文化財の所有権移転についてなど(4件)

◆議案

厚真町文化財の指定解除について(1件)

◆その他

平成29年度胆振管内教育委員会委員研修会について(1件)

★問合せ

学校教育グループ ☎27-2494

町内中学生3名 全国スケート大会で健闘！！

2月3日～4日に長野県で開催された第38回全国中学校スケート大会のスピードスケート競技に町内の中学生3名が出場しました。健闘の結果は下記の通りです。

- 【女子1000m 決勝】
22位 尾谷 琴音 (厚真中3年)
- 【女子3000m 決勝】
14位 赤間 朱樹 (厚真中2年)
- 【男子500m 予選】
44位 大捕 匠翔 (厚南中3年)
- 【男子1000m 予選】
57位 大捕 匠翔 (厚南中3年)

おわび 生涯学習だより1月号3ページにて、成人式の記念品を代表して授与された方のお名前に誤りがございました。心よりおわび申し上げます。

× 記念品授与 金山彩華さん(宇隆) ⇒ ○ 記念品授与 金山綾華さん(宇隆)